

31小監第521号  
令和元年8月1日

小牧市長 山下 史守朗 様

小牧市監査委員 伊藤 二三

小牧市監査委員 舟橋 秀和

平成30年度小牧市病院事業会計決算審査意見について  
地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された平成30年度小牧市病院事業決算及び決算附属書類並びに関係書類を審査した結果、その意見は次のとおりである。

## 目 次

### 平成30年度小牧市病院事業会計決算審査意見

|              |       |     |
|--------------|-------|-----|
| 第1           | 審査の対象 | 91  |
| 第2           | 審査の期間 | 91  |
| 第3           | 審査の方法 | 91  |
| 第4           | 審査の結果 | 91  |
| 第5           | 決算の概要 | 92  |
| 第6           | むすび   | 108 |
| 病院事業会計決算審査資料 |       | 111 |

#### 注記

文中及び表中の比率等の用法は、次のとおりである。

- 1 比率（％） ……原則として小数点以下第2位を四捨五入した。  
したがって、構成比において内訳の計と合計が一致しない場合がある。
- 2 「0.0」 ……該当数値はあるが単位未満のもの
- 3 「－」 ……比較不能のもの又は該当数値のないもの
- 4 「△」 ……負数
- 5 予算と対比する決算額の数値については消費税及び地方消費税を含み、財務諸表に関する数値については消費税及び地方消費税を除いて表示した。

## 平成30年度小牧市病院事業会計決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成30年度小牧市病院事業会計決算

### 第2 審査の期間

令和元年6月3日から令和元年7月31日まで

### 第3 審査の方法

提出された決算諸表が地方公営企業法に基づいて作成され、平成30年度小牧市病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか、また、会計処理の手続が適正になされているか、さらに、牽制機能が有効に作用しているかについて関係職員の説明を求めながら附属書類、総勘定元帳、関係諸帳簿と突合し、平成30年度に実施した定期監査及び例月出納検査の結果も参考として審査した。

なお、貯蔵品（たな卸資産）の薬品については、年度末のたな卸に立ち会って計数を確認した。

### 第4 審査の結果

市長から審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に定められた会計諸規定に基づき作成され、その計数は正確であり、かつ、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

## 第5 決算の概要

### 1 業務の概要

#### (1) 業務の実績

本年度の病院事業は、診療科数は31科、病床数は558床であり、診療日数は入院が365日、外来は244日となっている。業務の実績を前年度と比較すると、次のとおりである。

| 区 分                   |           | 30年度    | 29年度    | 比較増減    | 増減率(%) |
|-----------------------|-----------|---------|---------|---------|--------|
| 病床数 (床)               |           | 558     | 558     | 0       | 0.0    |
| 延患者数<br>(人)           | 入院        | 162,763 | 172,681 | △9,918  | △5.7   |
|                       | 外来        | 311,412 | 320,476 | △9,064  | △2.8   |
|                       | 計         | 474,175 | 493,157 | △18,982 | △3.8   |
| 1日平均<br>患者数<br>(人)    | 入院        | 445.9   | 473.1   | △27.2   | △5.7   |
|                       | 外来        | 1,276.3 | 1,313.4 | △37.1   | △2.8   |
|                       | 計         | 1,722.2 | 1,786.5 | △64.3   | △3.6   |
| 病床稼働率 (%)             |           | 79.9    | 84.8    | △4.9    | -      |
| 健診センター<br>健診者数<br>(人) | 人間ドック A・B | 5,403   | 5,404   | △1      | 0.0    |
|                       | その他の健診    | 12,601  | 12,361  | 240     | 1.9    |
|                       | 計         | 18,004  | 17,765  | 239     | 1.3    |
| 年度末職員数 (人)            |           | 929     | 928     | 1       | 0.1    |
|                       | うち医師      | 106     | 102     | 4       | 3.9    |
|                       | うち看護職員    | 610     | 622     | △12     | △1.9   |
|                       | うち事務員     | 52      | 53      | △1      | △1.9   |

注1： 健診センター健診者数の「その他の健診」の内訳は、脳ドック、がん健診などの特殊健診、一般健康診断等である。

注2： 年度末職員数の「うち看護職員」の内訳は、看護師及び准看護師である。

本年度の延患者数は474,175人であり、前年度に比して18,982人(3.8%)の減となっている。このうち入院延患者数は162,763人であり、前年度に比して9,918人(5.7%)の減となっている。外来延患者数は311,412人であり、前年度に比して9,064人(2.8%)の減となっている。

これは主に新病院建設と開院に向けた入院患者数の調整、新病院での予約制に向けての運用方針の実施及び国の施策による病診連携の充実によるものである。

健診センターにおける人間ドック等の健診者数は18,004人であり、前年度に比して239人(1.3%)の増となっている。

また、年度末職員数は929人であり、前年度に比して1人(0.1%)の増となっている。

## (2) 入院・外来患者利用状況

診療科別延患者数の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

| 区 分                    | 入院患者数   |         |         | 外来患者数   |         |         | 合 計     |         |          |
|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
|                        | 30年度    | 29年度    | 比較増減    | 30年度    | 29年度    | 比較増減    | 30年度    | 29年度    | 比較増減     |
| 内 科                    | 79,009  | 87,228  | △ 8,219 | 102,233 | 107,238 | △ 5,005 | 181,242 | 194,466 | △ 13,224 |
| 外 科                    | 17,888  | 17,587  | 301     | 22,952  | 22,260  | 692     | 40,840  | 39,847  | 993      |
| 脳 神 経<br>外 科           | 11,198  | 11,271  | △ 73    | 12,032  | 13,052  | △ 1,020 | 23,230  | 24,323  | △ 1,093  |
| 小 児 科                  | 7,679   | 7,423   | 256     | 12,127  | 12,701  | △ 574   | 19,806  | 20,124  | △ 318    |
| 産 婦 人 科                | 6,842   | 6,272   | 570     | 15,712  | 15,647  | 65      | 22,554  | 21,919  | 635      |
| 整 形 外 科                | 19,277  | 19,578  | △ 301   | 38,636  | 37,986  | 650     | 57,913  | 57,564  | 349      |
| 形 成 外 科                | 404     | 516     | △ 112   | 5,699   | 5,526   | 173     | 6,103   | 6,042   | 61       |
| 皮 膚 科                  | 1,310   | 1,177   | 133     | 13,960  | 13,243  | 717     | 15,270  | 14,420  | 850      |
| 泌 尿 器 科                | 9,049   | 9,654   | △ 605   | 27,032  | 30,259  | △ 3,227 | 36,081  | 39,913  | △ 3,832  |
| 耳 鼻<br>いんこう科           | 3,775   | 4,594   | △ 819   | 19,194  | 19,943  | △ 749   | 22,969  | 24,537  | △ 1,568  |
| 眼 科                    | 224     | 268     | △ 44    | 12,445  | 12,093  | 352     | 12,669  | 12,361  | 308      |
| 放 射 線 科                | 0       | 0       | 0       | 2,048   | 2,549   | △ 501   | 2,048   | 2,549   | △ 501    |
| 精 神 科                  | 0       | 0       | 0       | 1,673   | 2,747   | △ 1,074 | 1,673   | 2,747   | △ 1,074  |
| 麻 酔 科                  | 0       | 0       | 0       | 587     | 597     | △ 10    | 587     | 597     | △ 10     |
| 胸 部 外 科                | 4,913   | 5,850   | △ 937   | 4,611   | 4,528   | 83      | 9,524   | 10,378  | △ 854    |
| 歯 科 口 腔<br>外 科         | 1,195   | 1,263   | △ 68    | 16,246  | 16,347  | △ 101   | 17,441  | 17,610  | △ 169    |
| リ ハ ビ リ<br>テ ー シ ョ ン 科 | 0       | 0       | 0       | 4,225   | 3,760   | 465     | 4,225   | 3,760   | 465      |
| 計                      | 162,763 | 172,681 | △ 9,918 | 311,412 | 320,476 | △ 9,064 | 474,175 | 493,157 | △ 18,982 |

本年度の入院及び外来患者の利用状況を診療科別にみると、患者数の多い科は、入院では内科、整形外科、外科の順であり、外来では内科、整形外科、泌尿器科の順となっている。

次に患者数の前年度対比であるが、増加した主な科は、入院患者では、産婦人科の570人(9.1%)、外科の301人(1.7%)、小児科の256人(3.4%)であり、外来患者では、皮膚科の717人(5.4%)、外科の692人(3.1%)、整形外科の650人(1.7%)となっている。

一方、減少した主な科は、入院患者では、内科の8,219人(9.4%)、胸部外科の937人(16.0%)、耳鼻いんこう科の819人(17.8%)であり、外来患者では、内科の5,005人(4.7%)、泌尿器科の3,227人(10.7%)となっている。

## 2 予算執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### ア 収益的収入

(単位：円、%)

| 区分    | 予算額            | 決算額            | 予算額に比べ<br>決算額の増減額 | 予算額に<br>対する収入率 |
|-------|----------------|----------------|-------------------|----------------|
| 医業収益  | 20,000,526,000 | 18,878,732,385 | △1,121,793,615    | 94.4           |
| 医業外収益 | 1,109,355,000  | 1,095,676,365  | △13,678,635       | 98.8           |
| 特別利益  | 351,210,000    | 390,368,635    | 39,158,635        | 111.1          |
| 合計    | 21,461,091,000 | 20,364,777,385 | △1,096,313,615    | 94.9           |

収益的収入の決算額は 20,364,777,385 円であり、予算額に対する収入率は 94.9%(前年度 95.4%)となり、予算額に対して 1,096,313,615 円下回っている。これは医業収益において予算額を下回ったことによるものである。

#### イ 収益的支出

(単位：円、%)

| 区分    | 予算額            | 決算額            | 翌年度繰越額  | 不用額          | 執行率   |
|-------|----------------|----------------|---------|--------------|-------|
| 医業費用  | 20,120,907,000 | 19,443,324,908 | 0       | 677,582,092  | 96.6  |
| 医業外費用 | 1,157,915,000  | 1,021,967,540  | 0       | 135,947,460  | 88.3  |
| 特別損失  | 4,339,701,000  | 4,475,579,297  | 355,000 | △136,233,297 | 103.1 |
| 予備費   | 104,000        | 0              | 0       | 104,000      | 0.0   |
| 合計    | 25,618,627,000 | 24,940,871,745 | 355,000 | 677,400,255  | 97.4  |

収益的支出の決算額は 24,940,871,745 円であり、予算額に対する執行率は 97.4%(前年度 94.4%)となり、翌年度繰越額 355,000 円を差し引いた不用額は 677,400,255 円となっている。

このうち、医業費用の決算額は 19,443,324,908 円であり、677,582,092 円の不用額が生じている。不用額の主なものは、給与費における賃金及び給料である。

翌年度繰越額 355,000 円は、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越しである。

なお、医業費用における給与費のうち法定福利費引当金繰入額で 3,987,085 円、退職給付費で 10,786,244 円、材料費のうち薬品費で 23,278,097 円、診療材料費で 86,252,145 円、減価償却費のうちリース資産減価償却費で 513,835 円、資産減耗費のうちたな卸資産減耗費で 17,813 円、特別損失におけるその他特別損失のうちその他雑損失で 167,980,118 円がそれぞれ予算を超過している。これらは、現金支出を伴わない費用として計上されるため、予算超過が認められているものである。

## (2) 資本的収入及び支出

### ア 資本的収入

(単位：円、%)

| 区 分         | 予 算 額          | 決 算 額          | 予算額に比べ<br>決算額の増減額 | 予 算 額 に<br>対する収入率 |
|-------------|----------------|----------------|-------------------|-------------------|
| 企 業 債       | 13,650,000,000 | 13,050,000,000 | △600,000,000      | 95.6              |
| 補 助 金       | 44,617,000     | 45,137,000     | 520,000           | 101.2             |
| 固定資産売却代金    | 108,000        | 0              | △108,000          | 0.0               |
| 貸 付 返 済 金   | 100,000        | 9,440,000      | 9,340,000         | 9,440.0           |
| 他 会 計 負 担 金 | 3,800,034,000  | 3,577,549,000  | △222,485,000      | 94.1              |
| 合 計         | 17,494,859,000 | 16,682,126,000 | △812,733,000      | 95.4              |

資本的収入の決算額は16,682,126,000円であり、予算額に対する収入率は95.4%(前年度72.3%)となり、予算額に対して812,733,000円下回っている。

### イ 資本的支出

(単位：円、%)

| 区 分         | 予 算 額          | 決 算 額          | 翌年度繰越額      | 不 用 額       | 執行率   |
|-------------|----------------|----------------|-------------|-------------|-------|
| 建 設 改 良 費   | 22,586,338,000 | 21,651,998,770 | 401,047,000 | 533,292,230 | 95.9  |
| 企 業 債 償 還 金 | 245,651,000    | 245,650,493    | 0           | 507         | 100.0 |
| リース債務支払額    | 199,112,000    | 178,012,446    | 0           | 21,099,554  | 89.4  |
| 投 資         | 42,120,000     | 37,680,000     | 0           | 4,440,000   | 89.5  |
| 合 計         | 23,073,221,000 | 22,113,341,709 | 401,047,000 | 558,832,291 | 95.8  |

資本的支出の決算額は22,113,341,709円であり、予算額に対する執行率は95.8%(前年度71.7%)となり、翌年度繰越額401,047,000円を差し引いた不用額は558,832,291円となっている。不用額の主なものは、新病院建設事業費における器械備品購入費である。

なお、翌年度繰越額は、継続費の通次繰越であり、新病院建設事業費のうち委託料及び工事請負費で401,047,000円となっている。

### ウ 補填財源

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額5,431,215,709円は、過年度分損益勘定留保資金428,027,858円、減債積立金81,884,493円、建設改良積立金4,901,197,832円及び過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額20,105,526円で補填している。

### 3 経営成績

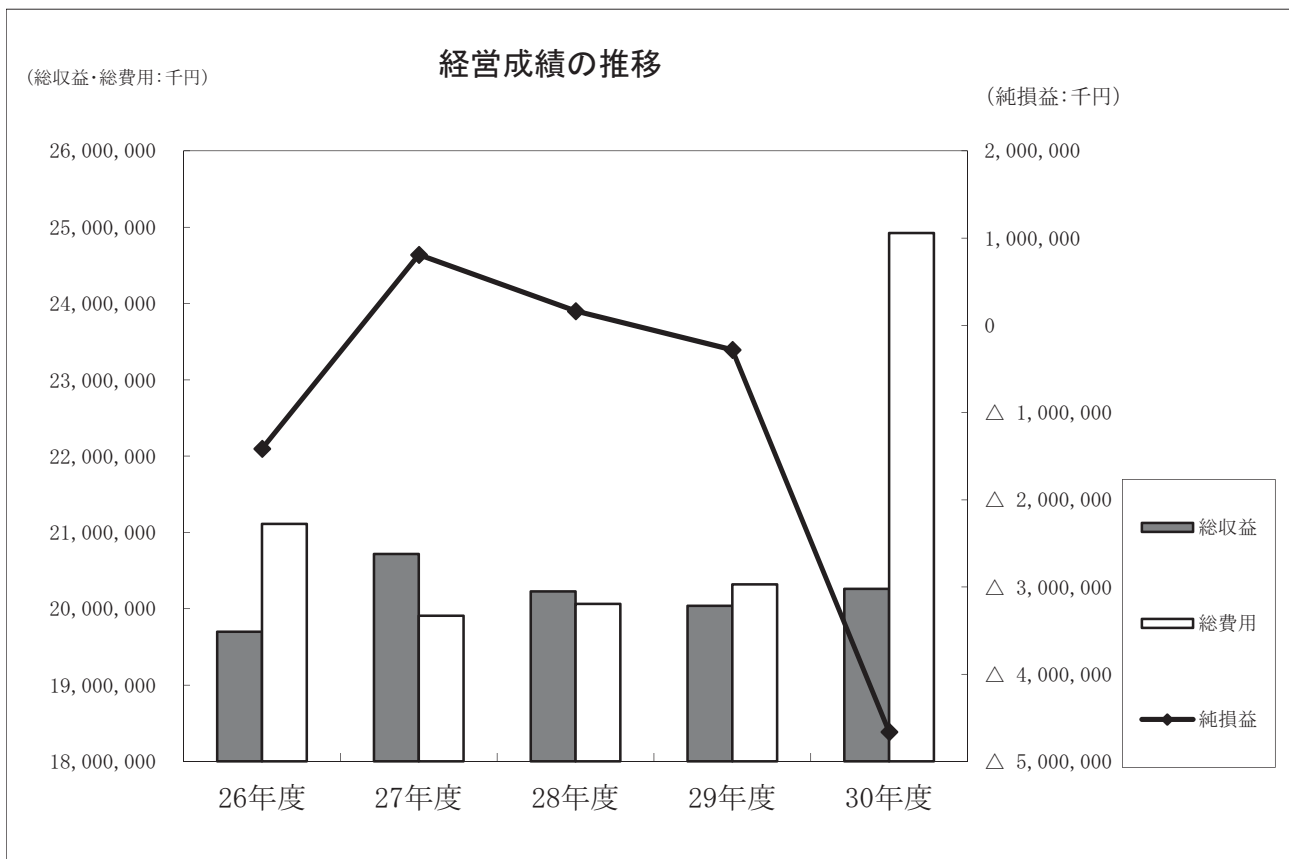
#### (1) 経営成績の推移

最近5か年の経営成績の推移は、次のとおりである。

経営成績の推移

(単位：円、%)

| 区 分  | 総 収 益          |       | 総 費 用          |       | 純 損 益           |
|------|----------------|-------|----------------|-------|-----------------|
|      | 金 額            | 伸 率   | 金 額            | 伸 率   | 金 額             |
| 26年度 | 19,699,861,874 | 0.5   | 21,113,855,762 | 12.7  | △ 1,413,993,888 |
| 27年度 | 20,719,000,785 | 5.2   | 19,909,714,668 | △ 5.7 | 809,286,117     |
| 28年度 | 20,228,462,516 | △ 2.4 | 20,065,488,876 | 0.8   | 162,973,640     |
| 29年度 | 20,038,809,950 | △ 0.9 | 20,318,082,554 | 1.3   | △ 279,272,604   |
| 30年度 | 20,260,504,792 | 1.1   | 24,923,961,353 | 22.7  | △ 4,663,456,561 |



総収益(収益的収入)の決算額は20,260,504,792円であり、前年度に比して221,694,842円(1.1%)の増となっている。また、総費用(収益的支出)の決算額は24,923,961,353円であり、前年度に比して4,605,878,799円(22.7%)の増となっている。

この結果、純損益(収益的収支差引)は4,663,456,561円の当年度純損失となり、赤字決算となっている。



## (2) 損益の状況

損益の状況及び収益比率の推移は、次のとおりである。

損益の状況

(単位：円、%)

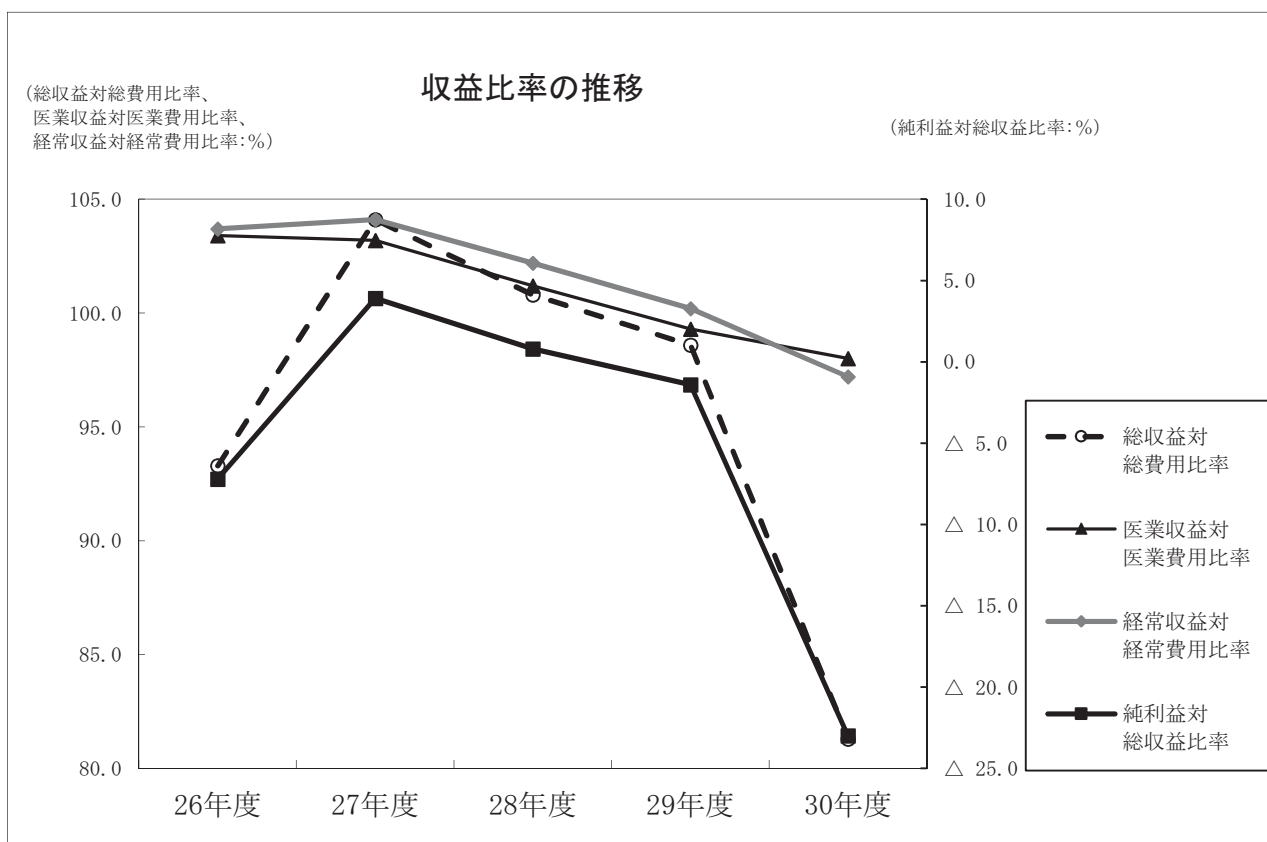
| 区 分       | 30年度            | 29年度           | 前年度比較           |         |
|-----------|-----------------|----------------|-----------------|---------|
|           |                 |                | 金 額             | 比率      |
| 総 収 益     | 20,260,504,792  | 20,038,809,950 | 221,694,842     | 101.1   |
| 医 業 収 益   | 18,817,120,590  | 18,965,676,487 | △ 148,555,897   | 99.2    |
| 医 業 外 収 益 | 1,053,023,461   | 998,698,041    | 54,325,420      | 105.4   |
| 特 別 利 益   | 390,360,741     | 74,435,422     | 315,925,319     | 524.4   |
| 総 費 用     | 24,923,961,353  | 20,318,082,554 | 4,605,878,799   | 122.7   |
| 医 業 費 用   | 19,208,736,269  | 19,099,135,577 | 109,600,692     | 100.6   |
| 医 業 外 費 用 | 1,239,923,503   | 834,974,105    | 404,949,398     | 148.5   |
| 特 別 損 失   | 4,475,301,581   | 383,972,872    | 4,091,328,709   | 1,165.5 |
| 当年度純損益    | △ 4,663,456,561 | △ 279,272,604  | △ 4,384,183,957 | -       |

当年度純損益は、前年度に比して4,384,183,957円の減となっている。これは主に新病院建設に伴い遊休資産となる固定資産等の減損損失3,159,277,462円を特別損失に計上したことによるものである。

収益比率の推移

(単位：%)

| 区 分             | 算 式                                                                        | 26年度  | 27年度  | 28年度  | 29年度  | 30年度   |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 総収益対<br>総費用比率   | $\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$                             | 93.3  | 104.1 | 100.8 | 98.6  | 81.3   |
| 医業収益対<br>医業費用比率 | $\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$                         | 103.4 | 103.2 | 101.2 | 99.3  | 98.0   |
| 経常収益対<br>経常費用比率 | $\frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$ | 103.7 | 104.1 | 102.2 | 100.2 | 97.2   |
| 純利益対<br>総収益比率   | $\frac{\text{純 利 益}}{\text{総 収 益}} \times 100$                             | △ 7.2 | 3.9   | 0.8   | △ 1.4 | △ 23.0 |



収益比率は、収益と費用とを対比して企業の経営活動の成果を表すものである。総収益対総費用比率を始めとするそれぞれの比率は前年度に比して低下している。

## ア 収益

総収益の内訳は、次のとおりである。

総収益の内訳

(単位：円、%)

| 区 分                    | 30年度           | 29年度           | 前年度比較         |       |
|------------------------|----------------|----------------|---------------|-------|
|                        |                |                | 金 額           | 比率    |
| 医 業 収 益                | 18,817,120,590 | 18,965,676,487 | △ 148,555,897 | 99.2  |
| 入 院 収 益                | 11,677,910,336 | 11,861,082,068 | △ 183,171,732 | 98.5  |
| 外 来 収 益                | 6,500,018,230  | 6,471,372,322  | 28,645,908    | 100.4 |
| そ の 他 医 業 収 益          | 639,192,024    | 633,222,097    | 5,969,927     | 100.9 |
| 医 業 外 収 益              | 1,053,023,461  | 998,698,041    | 54,325,420    | 105.4 |
| 受取利息及び配当金              | 3,394,473      | 3,008,745      | 385,728       | 112.8 |
| 他 会 計 補 助<br>及 び 負 担 金 | 732,906,000    | 626,007,000    | 106,899,000   | 117.1 |
| 補 助 金                  | 27,370,000     | 26,023,000     | 1,347,000     | 105.2 |
| 長 期 前 受 金 戻 入          | 130,492,425    | 166,315,490    | △ 35,823,065  | 78.5  |
| そ の 他 医 業 外 収 益        | 158,860,563    | 177,343,806    | △ 18,483,243  | 89.6  |
| 特 別 利 益                | 390,360,741    | 74,435,422     | 315,925,319   | 524.4 |
| 過 年 度 損 益 修 正 益        | 413,091        | 966,645        | △ 553,554     | 42.7  |
| そ の 他 特 別 利 益          | 389,947,650    | 73,468,777     | 316,478,873   | 530.8 |
| 総 収 益                  | 20,260,504,792 | 20,038,809,950 | 221,694,842   | 101.1 |

総収益の92.9%を占める医業収益は18,817,120,590円であり、前年度に比して148,555,897円(0.8%)の減となっている。これは主に新病院建設と開院に向けた入院患者数の調整、新病院での予約制に向けての運用方針の実施及び国の施策による病診連携の充実により入院患者数が減少し、入院収益が減となったことによるものである。

医業外収益は1,053,023,461円であり、前年度に比して54,325,420円(5.4%)の増となっている。これは主に長期前受金戻入が減となったものの、他会計補助及び負担金における一般会計負担金が増となったことによるものである。

特別利益は390,360,741円であり、前年度に比して315,925,319円(424.4%)の増となっている。これは主に減損損失の計上に伴い、対象となった資産に対する長期前受金を収益化したことにより、その他特別利益が増となったことによるものである。

## イ 費用

総費用の内訳は、次のとおりである。

総費用の内訳

(単位：円、%)

| 区 分                   | 30年度           | 29年度           | 前年度比較         |         |
|-----------------------|----------------|----------------|---------------|---------|
|                       |                |                | 金 額           | 比率      |
| 医 業 費 用               | 19,208,736,269 | 19,099,135,577 | 109,600,692   | 100.6   |
| 給 与 費                 | 9,444,125,073  | 9,341,065,067  | 103,060,006   | 101.1   |
| 材 料 費                 | 5,603,574,072  | 5,532,896,295  | 70,677,777    | 101.3   |
| 経 費                   | 3,118,916,659  | 3,076,390,679  | 42,525,980    | 101.4   |
| 減 価 償 却 費             | 963,528,171    | 1,061,155,312  | △ 97,627,141  | 90.8    |
| 資 産 減 耗 費             | 16,784,587     | 24,648,233     | △ 7,863,646   | 68.1    |
| 研 究 研 修 費             | 61,807,707     | 62,979,991     | △ 1,172,284   | 98.1    |
| 医 業 外 費 用             | 1,239,923,503  | 834,974,105    | 404,949,398   | 148.5   |
| 支払利息及び企業<br>債 取 扱 諸 費 | 74,954,341     | 68,548,519     | 6,405,822     | 109.3   |
| 保 育 費                 | 73,998,282     | 73,998,282     | 0             | 100.0   |
| 雑 損 失                 | 1,090,970,880  | 692,427,304    | 398,543,576   | 157.6   |
| 特 別 損 失               | 4,475,301,581  | 383,972,872    | 4,091,328,709 | 1,165.5 |
| 減 損 損 失               | 3,159,277,462  | -              | 3,159,277,462 | 皆増      |
| 過年度損益修正損              | 13,571,517     | 7,055,811      | 6,515,706     | 192.3   |
| その他特別損失               | 1,302,452,602  | 376,917,061    | 925,535,541   | 345.6   |
| 総 費 用                 | 24,923,961,353 | 20,318,082,554 | 4,605,878,799 | 122.7   |

総費用の77.1%を占める医業費用は19,208,736,269円であり、前年度に比して109,600,692円(0.6%)の増となっている。

医業費用のうち給与費は9,444,125,073円であり、前年度に比して103,060,006円(1.1%)の増となっている。これは主に退職給付費が増となったことによるものである。

材料費は5,603,574,072円であり、前年度に比して70,677,777円(1.3%)の増となっている。これは主に手術件数の増加等に伴い、診療材料費が増となったことによるものである。

医業外費用は1,239,923,503円であり、前年度に比して404,949,398円(48.5%)の増となっている。これは主に新病院で使用する器械備品等の購入に対する控除対象外消費税分が増となったことにより、雑損失が増となったことによるものである。

特別損失は4,475,301,581円であり、前年度に比して4,091,328,709円(1,065.5%)の増となっている。これは主に新病院開院に伴い遊休資産となる固定資産等の減損損失を計上したことによるものである。

不納欠損処分額の推移は、次のとおりである。

不納欠損処分額の推移

(単位：円、%)

| 区 分     | 28年度       |             | 29年度       |             | 30年度       |             |
|---------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|
|         | 金 額        | 対前年度<br>比 率 | 金 額        | 対前年度<br>比 率 | 金 額        | 対前年度<br>比 率 |
| 不納欠損処分額 | 14,416,888 | 75.3        | 11,814,705 | 82.0        | 17,977,107 | 152.2       |

不納欠損処分額は17,977,107円で前年度に比して6,162,402円(52.2%)の増となっており、貸倒引当金を取り崩している。

不納欠損処分額の内訳は、入院収益が11,075,005円(152件)、外来収益が6,064,355円(445件)、その他が837,747円(123件)である。

### (3) 経営比率

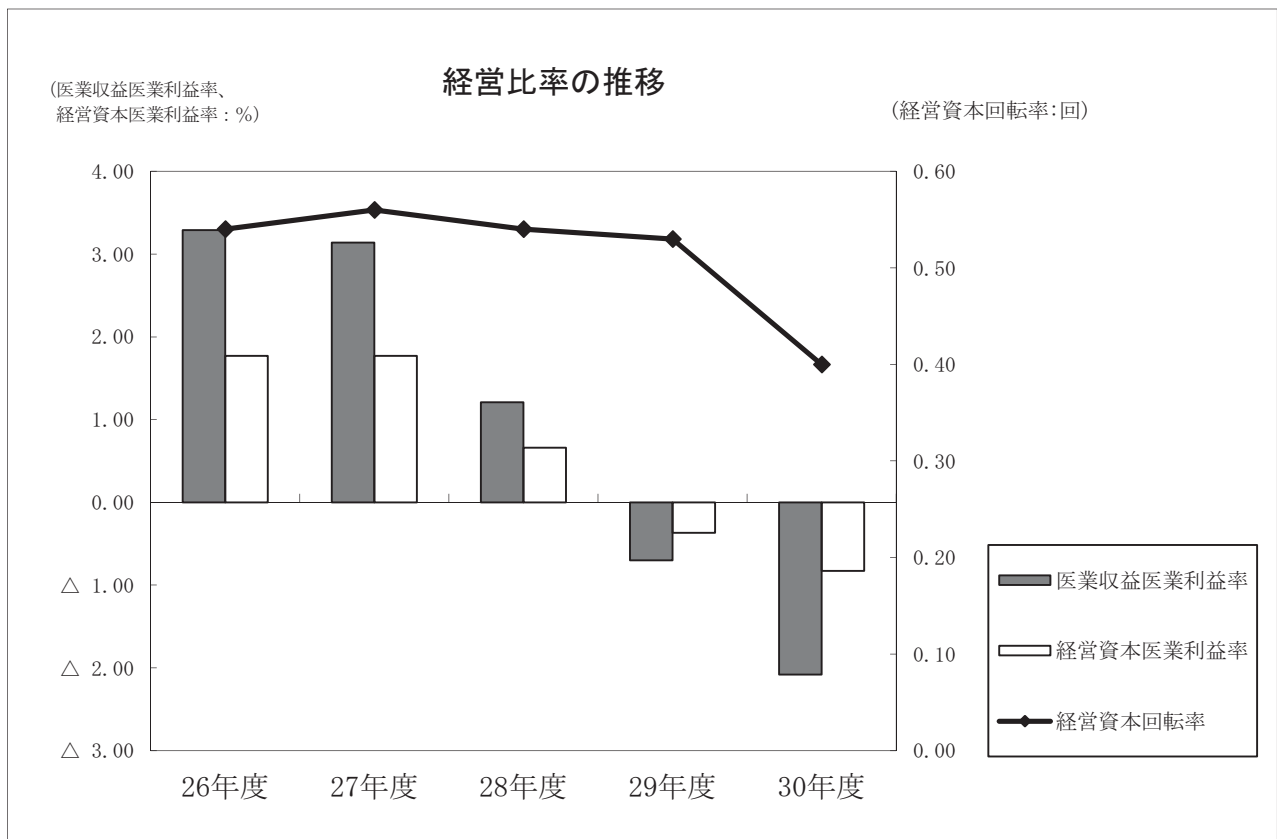
経営成績を判断するための指標となる経営比率の推移は、次のとおりである。

経営比率の推移

(単位：％、回)

| 区分            | 算式                                           | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度  | 30年度  |
|---------------|----------------------------------------------|------|------|------|-------|-------|
| 医業収益<br>医業利益率 | $\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$ | 3.29 | 3.14 | 1.21 | △0.70 | △2.08 |
| 経営資本<br>回転率   | $\frac{\text{医業収益}}{\text{経営資本}}$            | 0.54 | 0.56 | 0.54 | 0.53  | 0.40  |
| 経営資本<br>医業利益率 | $\frac{\text{医業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ | 1.77 | 1.77 | 0.66 | △0.37 | △0.83 |

注：経営資本＝平均総資産－平均（建設仮勘定＋投資＋繰延資産）



この表に示す数値は、企業に投下された資金が、能率的に運用されているかどうかを示す比率である。病院事業の経済性を総合的に判断する指標である経営資本医業利益率は△0.83%となり前年度に比して0.46ポイント低下している。

経営資本医業利益率は、医業収益医業利益率と経営資本回転率に分解することができる。

医業収益医業利益率は△2.08%となり前年度に比して1.38ポイント低下、経営資本回転率は0.40回となり前年度に比して0.13ポイント低下しており、医業損失の拡大及び新病院建設に伴い固定資産が増となったことから、経営資本医業利益率は低下している。

#### 4 財政状態

##### (1) 資産、負債及び資本

###### ア 資産

資産の状況は、次のとおりである。

資産

(単位：円、%)

| 区 分      | 30年度           |       | 29年度           |       | 前年度比較          |         |
|----------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|---------|
|          | 金額             | 構成比   | 金額             | 構成比   | 金額             | 比率      |
| 固定資産     | 33,020,443,986 | 56.5  | 16,123,758,462 | 38.3  | 16,896,685,524 | 204.8   |
| 有形固定資産   | 32,931,393,738 | 56.3  | 16,080,742,647 | 38.2  | 16,850,651,091 | 204.8   |
| 無形固定資産   | 35,841,650     | 0.1   | 42,115,743     | 0.1   | △ 6,274,093    | 85.1    |
| 投資その他の資産 | 53,208,598     | 0.1   | 900,072        | 0.0   | 52,308,526     | 5,911.6 |
| 流動資産     | 25,438,735,087 | 43.5  | 25,999,820,592 | 61.7  | △ 561,085,505  | 97.8    |
| 現金預金     | 21,434,146,857 | 36.7  | 22,351,543,170 | 53.1  | △ 917,396,313  | 95.9    |
| 未収金      | 3,491,590,226  | 6.0   | 3,471,743,639  | 8.2   | 19,846,587     | 100.6   |
| 貯蔵品      | 512,998,004    | 0.9   | 176,533,783    | 0.4   | 336,464,221    | 290.6   |
| 合 計      | 58,459,179,073 | 100.0 | 42,123,579,054 | 100.0 | 16,335,600,019 | 138.8   |

経営資金の運用形態である資産総額は 58,459,179,073 円であり、前年度に比して 16,335,600,019 円(38.8%)の増となっている。

固定資産は 33,020,443,986 円であり、前年度に比して 16,896,685,524 円(104.8%)の増となっている。これは主に新病院建設に伴い、建物等の有形固定資産が増となったことによるものである。

流動資産は 25,438,735,087 円であり、前年度に比して 561,085,505 円(2.2%)の減となっている。これは主に新病院建設に伴う建物等の有形固定資産の取得による支出が増したことから、現金預金が減となったことによるものである。

## イ 負債及び資本

負債及び資本の状況は、次のとおりである。

負債及び資本

(単位：円、%)

| 区 分     | 30年度           |       | 29年度           |       | 前年度比較           |       |
|---------|----------------|-------|----------------|-------|-----------------|-------|
|         | 金 額            | 構成比   | 金 額            | 構成比   | 金 額             | 比率    |
| 負 債 合 計 | 35,874,836,161 | 61.4  | 14,876,907,581 | 35.3  | 20,997,928,580  | 241.1 |
| 固 定 負 債 | 21,650,597,108 | 37.0  | 7,770,640,521  | 18.4  | 13,879,956,587  | 278.6 |
| 流 動 負 債 | 8,976,517,696  | 15.4  | 4,966,128,628  | 11.8  | 4,010,389,068   | 180.8 |
| 繰 延 収 益 | 5,247,721,357  | 9.0   | 2,140,138,432  | 5.1   | 3,107,582,925   | 245.2 |
| 資 本 合 計 | 22,584,342,912 | 38.6  | 27,246,671,473 | 64.7  | △ 4,662,328,561 | 82.9  |
| 資 本 金   | 15,358,632,607 | 26.3  | 15,358,632,607 | 36.5  | 0               | 100.0 |
| 剰 余 金   | 7,225,710,305  | 12.4  | 11,888,038,866 | 28.2  | △ 4,662,328,561 | 60.8  |
| 合 計     | 58,459,179,073 | 100.0 | 42,123,579,054 | 100.0 | 16,335,600,019  | 138.8 |

経営資金の調達源泉である負債及び資本の総額は58,459,179,073円であり、前年度に比して16,335,600,019円(38.8%)の増となっている。

負債合計は35,874,836,161円であり、前年度に比して20,997,928,580円(141.1%)の増となっている。これは主に新病院建設に伴う企業債の借入れによるものである。

資本合計は22,584,342,912円であり、前年度に比して4,662,328,561円(17.1%)の減となっている。これは主に当年度純損失の計上により剰余金が減となったことによるものである。



## (2) 資金の状況

一会計期間における現金の収入・支出の状況を明らかにするキャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

### キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

| 区分                  | 平成30年度          | 平成29年度         | 増減額             |
|---------------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 業務活動によるキャッシュ・フロー    |                 |                |                 |
| 当年度純利益 (△は損失)       | △4,663,456,561  | △279,272,604   | △4,384,183,957  |
| 減価償却費               | 967,311,264     | 1,061,155,312  | △93,844,048     |
| 減損損失                | 3,159,277,462   | -              | 3,159,277,462   |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少)  | 124,280,015     | 19,180,836     | 105,099,179     |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少)    | 30,304,630      | 17,151,215     | 13,153,415      |
| 法定福利費引当金の増減額 (△は減少) | 6,734,395       | 3,031,280      | 3,703,115       |
| 返還免除引当金の増減額 (△は減少)  | 25,381,848      | 55,079,528     | △29,697,680     |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少)    | 8,966,607       | 8,327,890      | 638,717         |
| 長期前受金戻入額            | △130,492,425    | △166,315,490   | 35,823,065      |
| 受取利息及び受取配当金         | △3,394,473      | △3,008,745     | △385,728        |
| 特別利益                | △389,947,650    | △73,468,777    | △316,478,873    |
| 支払利息                | 74,954,341      | 68,548,519     | 6,405,822       |
| 固定資産除却費             | 12,215,774      | 21,197,267     | △8,981,493      |
| 未収金の増減額 (△は増加)      | △21,628,194     | △48,263,467    | 26,635,273      |
| 未払金の増減額 (△は減少)      | 660,474,882     | 123,268,171    | 537,206,711     |
| たな卸資産の増減額 (△は増加)    | △336,464,221    | △8,581,862     | △327,882,359    |
| その他流動負債の増減額 (△は減少)  | 82,758,138      | 15,835,823     | 66,922,315      |
| 小計                  | △392,724,168    | 813,864,896    | △1,206,589,064  |
| 利息及び配当金の受取額         | 3,394,473       | 3,008,745      | 385,728         |
| 利息の支払額              | △74,954,341     | △68,548,519    | △6,405,822      |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー    | △464,284,036    | 748,325,122    | △1,212,609,158  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    |                 |                |                 |
| 有形固定資産の取得による支出      | △16,670,720,678 | △3,577,341,927 | △13,093,378,751 |
| 無形固定資産の取得による支出      | △4,093,000      | △12,650,000    | 8,557,000       |
| 国庫補助金等による収入         | 45,137,000      | 978,720,000    | △933,583,000    |
| 一般会計からの繰入金による収入     | 3,577,549,000   | 325,225,000    | 3,252,324,000   |
| 長期貸付金の貸付けによる支出      | △37,680,000     | △45,900,000    | 8,220,000       |
| 長期貸付金の返還による収入       | 6,890,000       | 5,800,000      | 1,090,000       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △13,082,917,678 | △2,326,146,927 | △10,756,770,751 |

| 財務活動によるキャッシュ・フロー                 |                |               |               |
|----------------------------------|----------------|---------------|---------------|
| 建設改良費等の財源に充てるための<br>企業債の償還による支出  | △245,650,493   | △246,248,503  | 598,010       |
| 建設改良費等の財源に充てるための<br>企業債の借入れによる収入 | 13,050,000,000 | 3,840,000,000 | 9,210,000,000 |
| リース債務の返済による支出                    | △174,544,106   | △213,671,599  | 39,127,493    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー                 | 12,629,805,401 | 3,380,079,898 | 9,249,725,503 |

|             |                |                |                |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| 資金増減額（△は減少） | △917,396,313   | 1,802,258,093  | △2,719,654,406 |
| 資金期首残高      | 22,351,543,170 | 20,549,285,077 | 1,802,258,093  |
| 資金期末残高      | 21,434,146,857 | 22,351,543,170 | △917,396,313   |

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表している。

本年度における業務活動によるキャッシュ・フローは、前年度に比して1,212,609,158円減の△464,284,036円となっている。これは、新病院建設と開院に向けた入院患者数の調整、新病院での予約制に向けての運用方針の実施及び国の施策による病診連携の充実による患者数の減少に伴い医業収益が減となったこと、新病院におけるたな卸資産が増となったことなどによるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年度に比して10,756,770,751円減の△13,082,917,678円、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年度に比して9,249,725,503円増の12,629,805,401円となっている。

なお、資金は917,396,313円の減となり、資金期末残高は21,434,146,857円となっている。

### (3) 財務比率

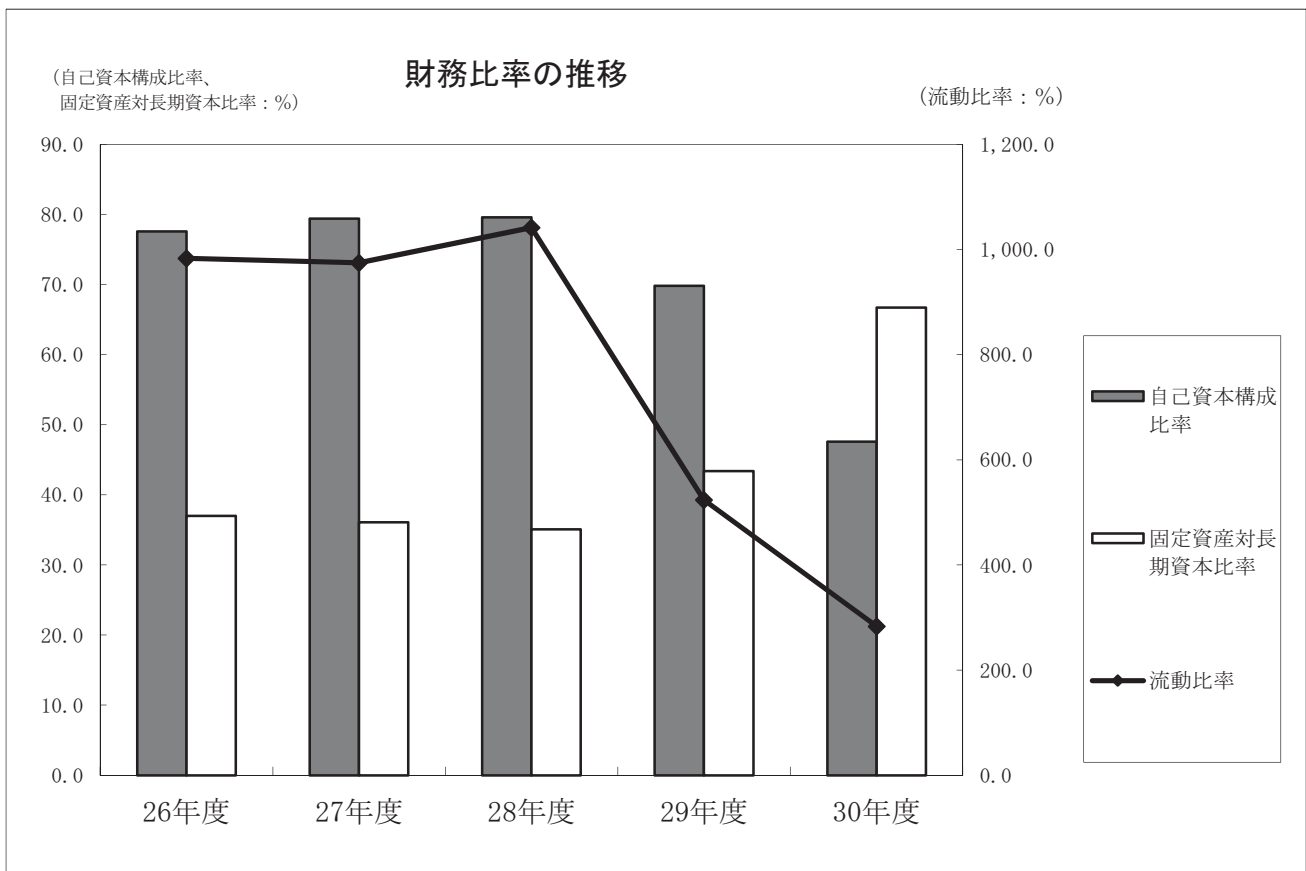
財政状態の良否を示す財務比率の推移は、次のとおりである。

財務比率の推移

(単位：%)

| 区 分             | 算 式                                                | 26年度  | 27年度  | 28年度    | 29年度  | 30年度  |
|-----------------|----------------------------------------------------|-------|-------|---------|-------|-------|
| 自己資本<br>構成比率    | $\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本(負債+資本)}} \times 100$ | 77.6  | 79.4  | 79.6    | 69.8  | 47.6  |
| 固定資産対<br>長期資本比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本+固定負債}} \times 100$  | 37.0  | 36.1  | 35.1    | 43.4  | 66.7  |
| 流動比率            | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$       | 983.4 | 974.5 | 1,042.0 | 523.5 | 283.4 |

注：自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益



自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合を示すものであり、この割合が大きいほど経営の安全性が大きいといえる。本年度は前年度に比して22.2ポイント低下し47.6%となっている。これは主に新病院建設等に伴う企業債の借入れによるものである。

固定資産対長期資本比率は、長期の安全性を示すものであり、この割合は100%以下が望ましいとされている。本年度は前年度に比して23.3ポイント上昇し66.7%となったものの、良好な状態を維持している。

流動比率は、短期債務に対する支払能力・運転資金の状況を示すものであり、200%以上が望ましいとされている。本年度は前年度に比して流動負債である未払金が増加したことなどにより240.1ポイント低下し283.4%となっている。これは主に新病院で使用する器械備品等の購入によるものである。

## 第6 むすび

決算の概要によると、入院・外来とも患者数の減少に加えて、新病院建設に伴い旧病院の一部が遊休資産となることで固定資産等の減損損失を計上したこと、及び経費として控除対象外消費税等の特別損益計上により、収益的収支において総収益が対前年度比 1.1%増加したものの、総費用が 22.7%増加したことで、平成30年度の純損益は4,663,456,561円の純損失となり赤字決算となっている。特に、特別損益を除いた経常収支でも、578,515,721円の経常損失となっており、主な要因としては、新病院に向けた器械備品の購入等に伴う控除対象外消費税の増加によるものである。また、患者数の減少では、旧病院の老朽化・狭隘化による施設の魅力の低下、さらに新病院建設と開院に向けた入院患者数の調整、新病院での予約制に向けての運用方針の実施及び国の施策である、高度な治療の必要のない者が個人の都合で通う患者への選定療養費を徴収する外来診療の見直しの影響によるものである。

引き続き建設関連工事が予定されており、様々な課題を解決するため、多額の資金が必要であることから、しばらくの間は厳しい経営状況が続くものと考えられる。

今後も引き続き急性期病院の役割を果たし、高度先進医療や今まで培った専門性の充実・強化、地域の医療ニーズに沿った安全で質の高い医療サービスの安定的・継続的な提供を図るとともに、より一層効率的かつ合理的な事業運営に取り組まれない。

なお、今後の事業運営に当たっては、次の事項に留意して取り組まれない。

- ・ 尾張北部地域における中核病院として、他の医療機関などと連携し、適切な役割を果たしていくことを最重要課題として、公立病院改革ガイドラインに基づき制定した小牧市民病院改革プランの改訂版を策定するなど、収入増加・確保対策や経費削減・抑制対策の計画を基に中期的な経営計画による健全経営に努められている。しかしながら、計画目標を達成することは容易ではないため、時には経営計画にとらわれることなく、客観的数値に基づく分析を加えることで、早い段階で経営環境を見定め、良好となるよう、事務局を中心とし病院職員が一致団結して見直しを行うなど、一層の努力を重ねられるよう望むものである。
- ・ 地域医療支援病院として「病診・病病連携」を推進されており、地域医療機関からの紹介患者の受け入れ体制を整え、高度な医療や検査を中心に行われ、同時に、症状が落ち着いた患者については、地域の医療機関への逆紹介と定期的なフォローが行われてきた。特に平成30年度には、新病院の開院に向けて、PFM導入の準備が進められており、全予定入院患者に対しての看護師、薬剤師、及び事務職など多職種職員による入退院支援や、退院後の療養を担う事業者との連携強化など、患者の不安を取り除く新たな体制づくりが構築されている。今後も地域医療連携機能の充実を図り、地域包括支援センターや介護・福祉施設への患者情報の提供など、医療・介護・福祉への切れ目ないサービスを提供できる体制の整備を進め、関係機関との連携の強化に取り組まれない。
- ・ 未収金対策として、3年間での実績による分析・評価を行うため、前年度から開始した弁護士による未収金回収委託、裁判所を利用した支払督促、受診時の支払相談の実施などに引き続き取

り組まれており、その結果、前年度に引き続き、微増ながら収納率を上げているところである。

医業未収金の解消は、患者の負担の公平と財源確保の観点から極めて重要な課題であり、引き続き、新たな未収の発生防止と未収金の早期回収に努められたい。

- 最近の経営管理については、トップダウンのみならず、ボトムアップ思考が重要となっており、管理職は、若手職員等が積極性を持てるよう、意識付けを促すための取組が必要となる。若手職員に、自ら現状を踏まえて、情報分析をする機会を与え、これまでの発想を変えさせ、さらに改善に結びつけることを実感できるような経験の積み重ねにより、若手職員のモチベーションを高めることにつなげられたい。
- 新しい医療施設や高度医療機器が十分にその機能を発揮し、高度な先進医療を安定的に提供するため、職員一人ひとりのスキルの向上とともに、組織体制の強化を図ることが重要となる。  
新病院の運用については、多職種からなる各種ワーキンググループを通じて議論を深め、計画を実現してきた。さらに新病院での組織体制を充実させるため、新たに経営企画室、医療情報システム室などの設置の準備を進めてきた。また、必要な医療サービスの提供を維持していくため、医師、看護師をはじめとする専門性の高い医療従事者の確保及び定着に努められており、医療安全、感染対策、栄養サポート、認知症ケアなど、中心的な役割を担う医療チームの充実などに積極的に取り組まれている。

今後も改革プランの基本理念・基本方針のもと、急性期医療を担う地域の基幹病院としての役割を果たすために、職員の経営意識の向上に取り組まれたい。



# 病 院 事 業 会 計 決 算 審 査 資 料

## 目 次

|                  |     |
|------------------|-----|
| 業務実績表 .....      | 112 |
| 経営分析表（その1） ..... | 114 |
| 経営分析表（その2） ..... | 116 |
| 予算決算対照表 .....    | 118 |
| 決算年度比較表 .....    | 120 |
| 比較損益計算書 .....    | 122 |
| 比較貸借対照表 .....    | 124 |

## 業 務 実 績

| 項 目                             | 算 式                                                                       | 単位 |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----|
| 病 床 稼 働 率                       | $\frac{\text{入 院 延 患 者 数}}{\text{年 延 病 床 数}} \times 100$                  | %  |
| 入 院 延 患 者 数                     |                                                                           | 人  |
| 外 来 延 患 者 数                     |                                                                           | 人  |
| 年 間 延 患 者 数                     |                                                                           | 人  |
| 1 日 平 均 入 院 患 者 数               | $\frac{\text{入 院 延 患 者 数}}{\text{年 間 日 数}}$                               | 人  |
| 1 日 平 均 外 来 患 者 数               | $\frac{\text{外 来 延 患 者 数}}{\text{外 来 診 療 日 数}}$                           | 人  |
| 医 師 1 人 1 日 当 たり 入 院 患 者 数      | $\frac{\text{入 院 延 患 者 数}}{\text{年 延 医 師 数}}$                             | 人  |
| 医 師 1 人 1 日 当 たり 外 来 患 者 数      | $\frac{\text{外 来 延 患 者 数}}{\text{年 延 医 師 数}}$                             | 人  |
| 看 護 職 員 1 人 1 日 当 たり 入 院 患 者 数  | $\frac{\text{入 院 延 患 者 数}}{\text{年 延 看 護 職 員 数}}$                         | 人  |
| 看 護 職 員 1 人 1 日 当 たり 外 来 患 者 数  | $\frac{\text{外 来 延 患 者 数}}{\text{年 延 看 護 職 員 数}}$                         | 人  |
| 病 床 1 0 0 床 当 たり 医 師 数          | $\frac{\text{年 度 末 医 師 数}}{558 \text{ 床}} \times 100$                     | 人  |
| 病 床 1 0 0 床 当 たり 看 護 職 員 数      | $\frac{\text{年 度 末 看 護 職 員 数}}{558 \text{ 床}} \times 100$                 | 人  |
| 病 床 1 0 0 床 当 たり そ の 他 職 員 数    | $\frac{\text{年 度 末 そ の 他 職 員 数}}{558 \text{ 床}} \times 100$               | 人  |
| 病 床 1 0 0 床 当 たり 全 職 員 数        | $\frac{\text{年 度 末 全 職 員 数}}{558 \text{ 床}} \times 100$                   | 人  |
| 患 者 1 人 当 たり 入 院 診 療 収 入        | $\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{入 院 延 患 者 数}}$                               | 円  |
| 患 者 1 人 当 たり 外 来 診 療 収 入        | $\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{外 来 延 患 者 数}}$                               | 円  |
| 医 師 1 人 1 日 平 均 診 療 収 入         | $\frac{\text{入 院 収 益} + \text{外 来 収 益}}{\text{年 延 医 師 数}}$                | 円  |
| 看 護 職 員 1 人 1 日 平 均 診 療 収 入     | $\frac{\text{入 院 収 益} + \text{外 来 収 益}}{\text{年 延 看 護 職 員 数}}$            | 円  |
| 企 業 債 償 還 元 金 対 入 院 外 来 収 益 比 率 | $\frac{\text{企 業 債 償 還 元 金}}{\text{入 院 収 益} + \text{外 来 収 益}} \times 100$ | %  |
| 企 業 債 利 息 対 入 院 外 来 収 益 比 率     | $\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{入 院 収 益} + \text{外 来 収 益}} \times 100$     | %  |
| 減 価 償 却 費 対 入 院 外 来 収 益 比 率     | $\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{入 院 収 益} + \text{外 来 収 益}} \times 100$     | %  |
| 職 員 給 与 費 対 入 院 外 来 収 益 比 率     | $\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{入 院 収 益} + \text{外 来 収 益}} \times 100$     | %  |

注：業務実績表におけるH30/H29、H29/H28欄の( )内数値は、対前年度比較のポイ



## 績 表

| 平成30年度  | 平成29年度  | 平成28年度  | $\frac{H30}{H29}$ % | $\frac{H29}{H28}$ % |
|---------|---------|---------|---------------------|---------------------|
| 79.9    | 84.8    | 87.0    | ( △ 4.9 )           | ( △ 2.2 )           |
| 162,763 | 172,681 | 177,226 | 94.3                | 97.4                |
| 311,412 | 320,476 | 337,605 | 97.2                | 94.9                |
| 474,175 | 493,157 | 514,831 | 96.2                | 95.8                |
| 445.9   | 473.1   | 485.6   | 94.3                | 97.4                |
| 1,276.3 | 1,313.4 | 1,389.3 | 97.2                | 94.5                |
| 2.6     | 2.7     | 2.8     | 96.3                | 96.4                |
| 5.0     | 5.1     | 5.4     | 98.0                | 94.4                |
| 0.7     | 0.7     | 0.7     | 100.0               | 100.0               |
| 1.3     | 1.3     | 1.3     | 100.0               | 100.0               |
| 19.0    | 18.3    | 17.0    | 103.8               | 107.6               |
| 109.3   | 111.5   | 110.0   | 98.0                | 101.4               |
| 38.2    | 36.6    | 35.1    | 104.4               | 104.3               |
| 166.5   | 166.3   | 162.2   | 100.1               | 102.5               |
| 71,748  | 68,688  | 67,393  | 104.5               | 101.9               |
| 20,873  | 20,193  | 19,402  | 103.4               | 104.1               |
| 292,527 | 291,292 | 296,248 | 100.4               | 98.3                |
| 74,114  | 72,728  | 73,295  | 101.9               | 99.2                |
| 1.4     | 1.3     | 2.3     | ( 0.1 )             | ( △ 1.0 )           |
| 0.4     | 0.3     | 0.4     | ( 0.1 )             | ( △ 0.1 )           |
| 5.3     | 5.8     | 6.1     | ( △ 0.5 )           | ( △ 0.3 )           |
| 52.0    | 51.0    | 49.7    | ( 1.0 )             | ( 1.3 )             |

ント数の増減である。

# 經 營 分

| 分析項目             |                   | 病 院 事 業 |        |          |        |        |
|------------------|-------------------|---------|--------|----------|--------|--------|
|                  |                   | 平成26年度  | 平成27年度 | 平成28年度   | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 構<br>成<br>比<br>率 | 1 固定資産<br>構成比率    | 34.50   | 33.62  | 32.81    | 38.28  | 56.48  |
|                  | 2 固定負債<br>構成比率    | 15.73   | 13.80  | 13.97    | 18.45  | 37.04  |
|                  | 3 自己資本<br>構成比率    | 77.61   | 79.39  | 79.58    | 69.76  | 47.61  |
| 財<br>務<br>比<br>率 | 4 固定比率            | 44.46   | 42.35  | 41.22    | 54.87  | 118.64 |
|                  | 5 固定資産対<br>長期資本比率 | 36.97   | 36.08  | 35.07    | 43.39  | 66.73  |
|                  | 6 流動比率            | 983.35  | 974.50 | 1,042.01 | 523.54 | 283.39 |
|                  | 7 酸性試験比率          | 974.23  | 966.36 | 1,034.77 | 519.99 | 277.68 |
|                  | 8 現金預金比率          | 827.96  | 812.50 | 886.69   | 450.08 | 238.78 |
|                  | 9 負債比率            | 28.85   | 25.97  | 25.65    | 43.34  | 110.04 |
| 回<br>轉<br>率      | 10 総資本回転率         | 0.52    | 0.56   | 0.54     | 0.49   | 0.37   |
|                  | 11 自己資本回転率        | 0.68    | 0.71   | 0.67     | 0.65   | 0.66   |
|                  | 12 固定資産回転率        | 1.58    | 1.67   | 1.69     | 1.78   | 0.87   |
|                  | 13 流動資産回転率        | 0.81    | 0.85   | 0.80     | 0.76   | 0.73   |
|                  | 14 未収金回転率         | 5.59    | 5.62   | 5.41     | 5.58   | 5.61   |
|                  | 15 減価償却率          | 10.97   | 10.80  | 12.12    | 12.13  | 3.09   |

# 析 表 ( そ の 1 )

| 算 式                                                                      | 備 考                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$                              | <p>【構成比率は、構成部分の全体に対する関係を表すものである。】</p> <p>1 固定資産構成比率は、総資産に対する固定資産の占める割合であり、この比率が高ければ資本が固定化の傾向にある。</p>                                       |
| $\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$                              | <p>2 固定負債構成比率は、資本総額と固定負債の関係を示すもので、他人資本依存度を示す。固定負債には企業債を含むため、この比率が高ければ返済負担が大きく、事業経営が不安定になる。</p>                                             |
| $\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$                              | <p>3 自己資本構成比率は、資本総額に占める自己資本の割合であり、この比率が高いほど事業経営は安定化する。</p>                                                                                 |
| $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$                             | <p>【財務比率は、貸借対照表における資産と負債又は資本との相互関係を表すものである。】</p> <p>4 固定比率は、固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が好ましいとされている。</p>                   |
| $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$               | <p>5 固定資産対長期資本比率は、固定資産が、どの程度返済期限のない自己資本や固定負債などの長期資本によって調達されているかを示すもので、その比率は100%以下であることが望ましい。仮に100%を超えると、短期資金が使われていることになり、不良債務の発生を意味する。</p> |
| $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$                             | <p>6 流動比率は、1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上あることが要求されるので、理想比率は200%以上であること。</p>                             |
| $\frac{\text{現金預金} + \text{未収金} - \text{貸倒引当金}}{\text{流動負債}} \times 100$ | <p>7 酸性試験比率は、当座比率の別名で、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化しうる未収金などの当座資産と流動負債を対比させたもので100%以上が理想比率とされている。</p>                                                 |
| $\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$                             | <p>8 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。</p>                                                                                    |
| $\frac{\text{負債}}{\text{自己資本}} \times 100$                               | <p>9 負債比率は、自己資本に対する負債の割合を示す比率であり、負債を自己資本より超過させないことが健全経営の第一義であるので、100%以下が望まれる。</p>                                                          |
| $\frac{\text{医業収益}}{\text{平均総資本}}$                                       | <p>【回転率は企業の活動性を示し、これらの比率は大きいほど資本が効率的に使われていることを表すものである。】</p> <p>10 総資本回転率は、企業に投下され運用されている総資本に対する効率性を測定するものである。</p>                          |
| $\frac{\text{医業収益}}{\text{平均自己資本}}$                                      | <p>11 自己資本回転率は、自己資本に対しての効率性を測定するものである。</p>                                                                                                 |
| $\frac{\text{医業収益}}{\text{平均(固定資産 - 建設仮勘定)}}$                            | <p>12 固定資産回転率は、企業の取引量である医業収益と設備資産に投下された資本との関係で、設備利用の適否をみるためのものである。</p>                                                                     |
| $\frac{\text{医業収益}}{\text{平均流動資産}}$                                      | <p>13 流動資産回転率は、現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、これらの回転率が高くなれば、それに応じて高くなるものである。</p>                                                         |
| $\frac{\text{医業収益}}{\text{平均営業未収金}}$                                     | <p>14 未収金回転率は、企業の取引量である医業収益と未収金との関連で、未収金に固定する金額の適否を測定するものである。</p>                                                                          |
| $\frac{\text{当年度減価償却費} \times 100}{\text{期末償却資産} + \text{当年度減価償却費}}$     | <p>15 減価償却率は、減価償却費を固定資産の帳簿価格と比較することにより、いかなる減価償却政策を採っているかを明らかにし、固定資産に投下された資本の回収状況をみるためのものである。</p>                                           |

# 分 営 經

| 分 析 項 目     |                       | 病 院 事 業 |        |        |        |         |
|-------------|-----------------------|---------|--------|--------|--------|---------|
|             |                       | 平成26年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度  |
| 収<br>益<br>率 | 16 総資本利益率             | 1.95    | 2.32   | 1.24   | 0.08   | △ 1.15  |
|             | 17 純利益対<br>総収益比率      | △ 7.18  | 3.91   | 0.81   | △ 1.39 | △ 23.02 |
|             | 18 医業利益対<br>医業収益比率    | 3.29    | 3.14   | 1.21   | △ 0.70 | △ 2.08  |
|             | 19 総収益対<br>総費用比率      | 93.30   | 104.06 | 100.81 | 98.63  | 81.29   |
|             | 20 医業収益対<br>医業費用比率    | 103.40  | 103.24 | 101.22 | 99.30  | 97.96   |
|             | 21 経常収益対<br>経常費用比率    | 103.67  | 104.10 | 102.23 | 100.15 | 97.17   |
| そ<br>の<br>他 | 22 利子負担率              | 3.39    | 3.35   | 3.15   | 1.12   | 0.38    |
|             | 23 企業債償還額対<br>減価償却費比率 | 56.10   | 43.96  | 36.86  | 23.21  | 25.49   |

## 析 表 ( そ の 2 )

| 算 式                                                | 備 考                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| $\frac{\text{当年度経常利益}}{\text{平均総資本}} \times 100$   | <p>【収益率は、収益と費用とを対比して企業の経営活動の成果を表すものである。その比率は大きいほど良好である。】</p> <p>16 総資本利益率は、総資本の収益性を見るものであり、事業の経常的な収益力を総合的に示すものである。</p> |
| $\frac{\text{当年度純利益}}{\text{総収益}} \times 100$      | <p>17 純利益対総収益比率は、総利益のうち最終的に企業に残されて純利益となったものの割合を示すものである。</p>                                                            |
| $\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$       | <p>18 医業利益対医業収益比率は、医業収益100円に対する医業利益の割合を示し、高いほど良好である。</p>                                                               |
| $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$         | <p>19 総収益対総費用比率は、総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。</p>                                                           |
| $\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$       | <p>20 医業収益対医業費用比率は、業務活動によってもたらされた医業収益と、それに要した医業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。</p>                   |
| $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$       | <p>21 経常収益対経常費用比率は、経常収益（医業収益＋医業外収益）と経常費用（医業費用＋医業外費用）を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。</p>                               |
| $\frac{\text{支払利息}}{\text{企業債＋リース債務}} \times 100$  | <p>22 利子負担率は、損益計算書が示す支払利息を、貸借対照表に示された有利子負債と比較することにより利率を計算したものである。この比率が高いと経営を圧迫する要因となる。</p>                             |
| $\frac{\text{企業債償還額}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$ | <p>23 企業債償還額対減価償却費比率は、投下資本の回収と再投資のバランスを見るものであり、100%を超えると再投資は企業債等の外部資金に頼らざるを得なくなり、投資の健全性は損なわれる。</p>                     |

注：本表における算式の用語は、次のとおりとした。

総 資 本 = 資本＋負債

自 己 資 本 = 資本金＋剰余金＋繰延収益

平 均 = (期首＋期末) × 1 / 2

(平成26年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの)

期 末 償 却 資 産 = 有形固定資産（償却未済額）＋無形固定資産－土地  
 －建設仮勘定－電話加入権

予 算 決 算

| 收               |                | 入     |                |       |                   |
|-----------------|----------------|-------|----------------|-------|-------------------|
| 予 算 科 目         | 予 算 現 額        |       | 決 算 額          |       | $\frac{(B)}{(A)}$ |
|                 | 金 額(A)         | 構 成 比 | 金 額(B)         | 構 成 比 |                   |
| 收 益 的 收 入       | 21,461,091,000 | 100.0 | 20,364,777,385 | 100.0 | 94.9              |
| 医 業 收 益         | 20,000,526,000 | 93.2  | 18,878,732,385 | 92.7  | 94.4              |
| 医 業 外 收 益       | 1,109,355,000  | 5.2   | 1,095,676,365  | 5.4   | 98.8              |
| 特 別 利 益         | 351,210,000    | 1.6   | 390,368,635    | 1.9   | 111.1             |
| 資 本 的 收 入       | 17,494,859,000 | 100.0 | 16,682,126,000 | 100.0 | 95.4              |
| 企 業 債           | 13,650,000,000 | 78.0  | 13,050,000,000 | 78.2  | 95.6              |
| 補 助 金           | 44,617,000     | 0.3   | 45,137,000     | 0.3   | 101.2             |
| 固 定 資 産 売 却 代 金 | 108,000        | 0.0   | 0              | 0.0   | 0.0               |
| 貸 付 返 済 金       | 100,000        | 0.0   | 9,440,000      | 0.1   | 9,440.0           |
| 他 会 計 負 担 金     | 3,800,034,000  | 21.7  | 3,577,549,000  | 21.4  | 94.1              |

# 対 照 表

(単位：円、%)

| 予 算 科 目         | 支              |       | 出              |       | $\frac{(D)}{(C)}$ |
|-----------------|----------------|-------|----------------|-------|-------------------|
|                 | 予 算 現 額        |       | 決 算 額          |       |                   |
|                 | 金 額(C)         | 構 成 比 | 金 額(D)         | 構 成 比 |                   |
| 収 益 的 支 出       | 25,618,627,000 | 100.0 | 24,940,871,745 | 100.0 | 97.4              |
| 医 業 費 用         | 20,120,907,000 | 78.5  | 19,443,324,908 | 78.0  | 96.6              |
| 医 業 外 費 用       | 1,157,915,000  | 4.5   | 1,021,967,540  | 4.1   | 88.3              |
| 特 別 損 失         | 4,339,701,000  | 16.9  | 4,475,579,297  | 17.9  | 103.1             |
| 予 備 費           | 104,000        | 0.0   | 0              | 0.0   | 0.0               |
| 資 本 的 支 出       | 23,073,221,000 | 100.0 | 22,113,341,709 | 100.0 | 95.8              |
| 建 設 改 良 費       | 22,586,338,000 | 97.9  | 21,651,998,770 | 97.9  | 95.9              |
| 企 業 債 償 還 金     | 245,651,000    | 1.1   | 245,650,493    | 1.1   | 100.0             |
| リ ー ス 債 務 支 払 額 | 199,112,000    | 0.9   | 178,012,446    | 0.8   | 89.4              |
| 投 資             | 42,120,000     | 0.2   | 37,680,000     | 0.2   | 89.5              |

# 決 算 年 度

| 予 算 科 目      | 収              |       | 入              |       |                |       | (A)<br>(B) |
|--------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|------------|
|              | 平成30年度         |       | 平成29年度         |       | 平成28年度         |       |            |
|              | 金 額(A)         | 構成比   | 金 額(B)         | 構成比   | 金 額            | 構成比   |            |
| 収益の収入        | 20,364,777,385 | 100.0 | 20,108,429,221 | 100.0 | 20,298,383,776 | 100.0 | 101.3      |
| 医業収益         | 18,878,732,385 | 92.7  | 19,026,062,146 | 94.6  | 19,200,061,254 | 94.6  | 99.2       |
| 医業外収益        | 1,095,676,365  | 5.4   | 1,007,908,728  | 5.0   | 1,076,610,233  | 5.3   | 108.7      |
| 特別利益         | 390,368,635    | 1.9   | 74,458,347     | 0.4   | 21,712,289     | 0.1   | 524.3      |
| 資本的収入        | 16,682,126,000 | 100.0 | 5,149,745,000  | 100.0 | 888,084,000    | 100.0 | 323.9      |
| 企業債          | 13,050,000,000 | 78.2  | 3,840,000,000  | 74.6  | 360,000,000    | 40.5  | 339.8      |
| 補助金          | 45,137,000     | 0.3   | 978,720,000    | 19.0  | 27,900,000     | 3.1   | 4.6        |
| 固定資産<br>売却代金 | 0              | 0.0   | 0              | 0.0   | 0              | 0.0   | -          |
| 貸付返済金        | 9,440,000      | 0.1   | 5,800,000      | 0.1   | 7,350,000      | 0.8   | 162.8      |
| 他会計負担金       | 3,577,549,000  | 21.4  | 325,225,000    | 6.3   | 492,834,000    | 55.5  | 1,100.0    |



# 比 較 表

(単位：円、%)

| 予 算 科 目      | 支              |       | 出              |       |                |       |            |
|--------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|------------|
|              | 平成30年度         |       | 平成29年度         |       | 平成28年度         |       | (C)<br>(D) |
|              | 金 額(C)         | 構成比   | 金 額(D)         | 構成比   | 金 額            | 構成比   |            |
| 収益的支出        | 24,940,871,745 | 100.0 | 20,349,180,990 | 100.0 | 20,109,056,420 | 100.0 | 122.6      |
| 医業費用         | 19,443,324,908 | 78.0  | 19,328,481,194 | 95.0  | 19,129,568,879 | 95.1  | 100.6      |
| 医業外費用        | 1,021,967,540  | 4.1   | 636,711,608    | 3.1   | 678,981,545    | 3.4   | 160.5      |
| 特別損失         | 4,475,579,297  | 17.9  | 383,988,188    | 1.9   | 300,505,996    | 1.5   | 1,165.6    |
| 資本的支出        | 22,113,341,709 | 100.0 | 6,229,091,970  | 100.0 | 2,004,324,650  | 100.0 | 355.0      |
| 建設改良費        | 21,651,998,770 | 97.9  | 5,716,017,439  | 91.8  | 1,254,673,959  | 62.6  | 378.8      |
| 企業債償還金       | 245,650,493    | 1.1   | 246,248,503    | 4.0   | 418,026,072    | 20.9  | 99.8       |
| リース債務<br>支払額 | 178,012,446    | 0.8   | 220,926,028    | 3.5   | 273,534,619    | 13.6  | 80.6       |
| 投 資          | 37,680,000     | 0.2   | 45,900,000     | 0.7   | 58,090,000     | 2.9   | 82.1       |

# 比 較 損 益

| 科 目                          | 借               |       | 方              |       |                |       | (A)<br>(B) |
|------------------------------|-----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|------------|
|                              | 平成30年度          |       | 平成29年度         |       | 平成28年度         |       |            |
|                              | 金 額(A)          | 構成比   | 金 額(B)         | 構成比   | 金 額            | 構成比   |            |
| 医 業 費 用                      | 19,208,736,269  | 77.1  | 19,099,135,577 | 94.0  | 18,908,199,317 | 94.2  | 100.6      |
| 給 与 費                        | 9,444,125,073   | 37.9  | 9,341,065,067  | 46.0  | 9,198,267,516  | 45.8  | 101.1      |
| 材 料 費                        | 5,603,574,072   | 22.5  | 5,532,896,295  | 27.2  | 5,517,382,078  | 27.5  | 101.3      |
| 経 費                          | 3,118,916,659   | 12.5  | 3,076,390,679  | 15.1  | 2,965,899,644  | 14.8  | 101.4      |
| 減 価 償 却 費                    | 963,528,171     | 3.9   | 1,061,155,312  | 5.2   | 1,134,229,651  | 5.7   | 90.8       |
| 資 産 減 耗 費                    | 16,784,587      | 0.1   | 24,648,233     | 0.1   | 30,949,872     | 0.2   | 68.1       |
| 研 究 研 修 費                    | 61,807,707      | 0.2   | 62,979,991     | 0.3   | 61,470,556     | 0.3   | 98.1       |
| 医 業 外 費 用                    | 1,239,923,503   | 5.0   | 834,974,105    | 4.1   | 856,976,755    | 4.3   | 148.5      |
| 支 払 利 息 及 び<br>企 業 債 取 扱 諸 費 | 74,954,341      | 0.3   | 68,548,519     | 0.3   | 81,512,498     | 0.4   | 109.3      |
| 保 育 費                        | 73,998,282      | 0.3   | 73,998,282     | 0.4   | 73,998,282     | 0.4   | 100.0      |
| 雑 損 失                        | 1,090,970,880   | 4.4   | 692,427,304    | 3.4   | 701,465,975    | 3.5   | 157.6      |
| 特 別 損 失                      | 4,475,301,581   | 18.0  | 383,972,872    | 1.9   | 300,312,804    | 1.5   | 1,165.5    |
| 減 損 損 失                      | 3,159,277,462   | 12.7  | -              | -     | -              | -     | 皆増         |
| 過 年 度 損 益<br>修 正 損           | 13,571,517      | 0.1   | 7,055,811      | 0.0   | 17,436,560     | 0.1   | 192.3      |
| そ の 他 特 別 損 失                | 1,302,452,602   | 5.2   | 376,917,061    | 1.9   | 282,876,244    | 1.4   | 345.6      |
| 総 費 用                        | 24,923,961,353  | 100.0 | 20,318,082,554 | 100.0 | 20,065,488,876 | 100.0 | 122.7      |
| 当 年 度 純 損 益                  | △ 4,663,456,561 | -     | △ 279,272,604  | -     | 162,973,640    | -     | -          |
| 合 計                          | 20,260,504,792  | -     | 20,038,809,950 | -     | 20,228,462,516 | -     | 101.1      |

# 計 算 書

(単位：円、%)

| 科 目                    | 貸              |       | 方              |       |                |       | (C)<br>(D) |
|------------------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|------------|
|                        | 平成30年度         |       | 平成29年度         |       | 平成28年度         |       |            |
|                        | 金 額(C)         | 構成比   | 金 額(D)         | 構成比   | 金 額            | 構成比   |            |
| 医 業 収 益                | 18,817,120,590 | 92.9  | 18,965,676,487 | 94.6  | 19,139,367,020 | 94.6  | 99.2       |
| 入 院 収 益                | 11,677,910,336 | 57.6  | 11,861,082,068 | 59.2  | 11,943,825,471 | 59.0  | 98.5       |
| 外 来 収 益                | 6,500,018,230  | 32.1  | 6,471,372,322  | 32.3  | 6,550,043,564  | 32.4  | 100.4      |
| その他医業収益                | 639,192,024    | 3.2   | 633,222,097    | 3.2   | 645,497,985    | 3.2   | 100.9      |
| 医 業 外 収 益              | 1,053,023,461  | 5.2   | 998,698,041    | 5.0   | 1,067,392,278  | 5.3   | 105.4      |
| 受 取 利 息<br>及 び 配 当 金   | 3,394,473      | 0.0   | 3,008,745      | 0.0   | 13,595,136     | 0.1   | 112.8      |
| 他 会 計 補 助<br>及 び 負 担 金 | 732,906,000    | 3.6   | 626,007,000    | 3.1   | 624,496,000    | 3.1   | 117.1      |
| 補 助 金                  | 27,370,000     | 0.1   | 26,023,000     | 0.1   | 25,124,000     | 0.1   | 105.2      |
| 長期前受金戻入                | 130,492,425    | 0.6   | 166,315,490    | 0.8   | 225,673,303    | 1.1   | 78.5       |
| そ の 他<br>医 業 外 収 益     | 158,860,563    | 0.8   | 177,343,806    | 0.9   | 178,503,839    | 0.9   | 89.6       |
| 特 別 利 益                | 390,360,741    | 1.9   | 74,435,422     | 0.4   | 21,703,218     | 0.1   | 524.4      |
| 過 年 度 損 益<br>修 正 益     | 413,091        | 0.0   | 966,645        | 0.0   | 918,771        | 0.0   | 42.7       |
| その他特別利益                | 389,947,650    | 1.9   | 73,468,777     | 0.4   | 20,784,447     | 0.1   | 530.8      |
| 総 収 益                  | 20,260,504,792 | 100.0 | 20,038,809,950 | 100.0 | 20,228,462,516 | 100.0 | 101.1      |
|                        |                |       |                |       |                |       |            |
| 合 計                    | 20,260,504,792 | -     | 20,038,809,950 | -     | 20,228,462,516 | -     | 101.1      |

比 較 貸 借

| 科 目                    | 借              |       | 方              |       |                |       | (A)<br>(B) |
|------------------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|------------|
|                        | 平成30年度         |       | 平成29年度         |       | 平成28年度         |       |            |
|                        | 金 額(A)         | 構成比   | 金 額(B)         | 構成比   | 金 額            | 構成比   |            |
| 固 定 資 産                | 33,020,443,986 | 56.5  | 16,123,758,462 | 38.3  | 11,790,385,740 | 32.8  | 204.8      |
| 有形固定資産                 | 32,931,393,738 | 56.3  | 16,080,742,647 | 38.2  | 11,736,885,803 | 32.7  | 204.8      |
| 土 地                    | 2,679,177,556  | 4.6   | 2,676,920,325  | 6.4   | 2,676,920,325  | 7.4   | 100.1      |
| 建 物                    | 21,748,998,628 | 37.2  | 5,005,325,964  | 11.9  | 5,301,220,335  | 14.8  | 434.5      |
| 構 築 物                  | 36,908,379     | 0.1   | 60,383,888     | 0.1   | 65,512,043     | 0.2   | 61.1       |
| 器 械 備 品                | 7,215,034,424  | 12.3  | 2,250,714,078  | 5.3   | 2,390,624,365  | 6.7   | 320.6      |
| 車 両                    | 3,485,041      | 0.0   | 4,511,778      | 0.0   | 6,143,055      | 0.0   | 77.2       |
| 放 射 性<br>同 位 元 素       | 64,443,000     | 0.1   | 2,966,400      | 0.0   | 5,932,800      | 0.0   | 2,172.4    |
| リ ー ス 資 産              | 1,102,609,750  | 1.9   | 327,266,630    | 0.8   | 423,800,765    | 1.2   | 336.9      |
| 建 設 仮 勘 定              | 80,736,960     | 0.1   | 5,752,653,584  | 13.7  | 866,732,115    | 2.4   | 1.4        |
| 無形固定資産                 | 35,841,650     | 0.1   | 42,115,743     | 0.1   | 37,620,337     | 0.1   | 85.1       |
| 電 話 加 入 権              | 8,111,650      | 0.0   | 8,111,650      | 0.0   | 8,111,650      | 0.0   | 100.0      |
| ソ フ ト ウ ェ ア            | 27,730,000     | 0.0   | 30,881,000     | 0.1   | 21,374,000     | 0.1   | 89.8       |
| リ ー ス 資 産              | 0              | 0.0   | 3,123,093      | 0.0   | 8,134,687      | 0.0   | 皆減         |
| 投 資 資 産<br>そ の 他 の 資 産 | 53,208,598     | 0.1   | 900,072        | 0.0   | 15,879,600     | 0.0   | 5,911.6    |
| 長 期 貸 付 金              | 3,758,224      | 0.0   | 900,072        | 0.0   | 15,879,600     | 0.0   | 417.5      |
| 長 期 未 収 金              | 1,830,000      | 0.0   | 0              | 0.0   | 0              | 0.0   | 皆増         |
| 長 期 前 払 費 用            | 47,620,374     | 0.1   | -              | -     | -              | -     | 皆増         |
| 流 動 資 産                | 25,438,735,087 | 43.5  | 25,999,820,592 | 61.7  | 24,149,045,060 | 67.2  | 97.8       |
| 現 金 預 金                | 21,434,146,857 | 36.7  | 22,351,543,170 | 53.1  | 20,549,285,077 | 57.2  | 95.9       |
| 未 収 金                  | 3,491,590,226  | 6.0   | 3,471,743,639  | 8.2   | 3,431,808,062  | 9.5   | 100.6      |
| 貯 蔵 品                  | 512,998,004    | 0.9   | 176,533,783    | 0.4   | 167,951,921    | 0.5   | 290.6      |
| 資 産 合 計                | 58,459,179,073 | 100.0 | 42,123,579,054 | 100.0 | 35,939,430,800 | 100.0 | 138.8      |

# 対 照 表

(単位：円、%)

| 科 目         | 貸              |       | 方              |       |                |       | (C)<br>(D) |
|-------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|------------|
|             | 平成30年度         |       | 平成29年度         |       | 平成28年度         |       |            |
|             | 金 額(C)         | 構成比   | 金 額(D)         | 構成比   | 金 額            | 構成比   |            |
| 固 定 負 債     | 21,650,597,108 | 37.0  | 7,770,640,521  | 18.4  | 5,019,974,595  | 14.0  | 278.6      |
| 企 業 債       | 17,547,376,729 | 30.0  | 4,734,180,654  | 11.2  | 1,979,831,147  | 5.5   | 370.7      |
| リ ー ス 債 務   | 1,067,647,692  | 1.8   | 131,459,838    | 0.3   | 154,117,315    | 0.4   | 812.1      |
| 引 当 金       | 3,035,572,687  | 5.2   | 2,905,000,029  | 6.9   | 2,886,026,133  | 8.0   | 104.5      |
| 流 動 負 債     | 8,976,517,696  | 15.4  | 4,966,128,628  | 11.8  | 2,317,534,429  | 6.4   | 180.8      |
| 企 業 債       | 1,076,803,925  | 1.8   | 1,085,650,493  | 2.6   | 246,248,503    | 0.7   | 99.2       |
| リ ー ス 債 務   | 113,190,274    | 0.2   | 163,859,034    | 0.4   | 208,394,916    | 0.6   | 69.1       |
| 未 払 金       | 6,970,192,119  | 11.9  | 3,104,294,465  | 7.4   | 1,289,074,682  | 3.6   | 224.5      |
| 前 受 金       | 84,933,000     | 0.1   | 1,500,000      | 0.0   | 1,500,000      | 0.0   | 5,662.2    |
| 引 当 金       | 561,351,289    | 1.0   | 523,535,685    | 1.2   | 500,863,200    | 1.4   | 107.2      |
| そ の 他 債 務   | 170,047,089    | 0.3   | 87,288,951     | 0.2   | 71,453,128     | 0.2   | 194.8      |
| 繰 延 収 益     | 5,247,721,357  | 9.0   | 2,140,138,432  | 5.1   | 1,075,977,699  | 3.0   | 245.2      |
| 長 期 前 受 金   | 5,247,721,357  | 9.0   | 2,140,138,432  | 5.1   | 1,075,977,699  | 3.0   | 245.2      |
| 負 債 合 計     | 35,874,836,161 | 61.4  | 14,876,907,581 | 35.3  | 8,413,486,723  | 23.4  | 241.1      |
| 資 本 金       | 15,358,632,607 | 26.3  | 15,358,632,607 | 36.5  | 15,358,632,607 | 42.7  | 100.0      |
| 剰 余 金       | 7,225,710,305  | 12.4  | 11,888,038,866 | 28.2  | 12,167,311,470 | 33.9  | 60.8       |
| 資 本 剰 余 金   | 380,358,000    | 0.7   | 379,230,000    | 0.9   | 379,230,000    | 1.1   | 100.3      |
| 利 益 剰 余 金   | 6,845,352,305  | 11.7  | 11,508,808,866 | 27.3  | 11,788,081,470 | 32.8  | 59.5       |
| 資 本 合 計     | 22,584,342,912 | 38.6  | 27,246,671,473 | 64.7  | 27,525,944,077 | 76.6  | 82.9       |
|             |                |       |                |       |                |       |            |
| 負 債 資 本 合 計 | 58,459,179,073 | 100.0 | 42,123,579,054 | 100.0 | 35,939,430,800 | 100.0 | 138.8      |